

## 砺波総合病院から



救急・集中治療部  
家接健一

市立砺波総合病院 ☎32-3320  
ホームページ <http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh/>

## DMAT (Disaster Medical Assistance Team) が誕生しました

DMAT(ディーマツト)とは

DMAT隊とは、大地震および航空機、列車事故などの災害時に被災地に迅速に駆けつけ、急性期の救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームのことです。1チームは4〜5人で編成し、医師、看護師、調整員で構成されています。砺波総合病院にもDMAT隊が誕生しました。

### 災害医療の整備

1995年の阪神淡路大震災で多くの方が亡くなりました。後の検証でも現場の救急医療や患者搬送がより充実したものであれば、命を落とさず

にすんだ患者さんが多くいたと考えられており、その数はおよそ500名と推測されています。そのことの反省から、日本全国にDMAT隊がつくられるようになりました。富山県でも、現在、主に災害拠点病院でDMAT隊がつくられています。2011年3月に発生した東日本大震災の時には、全国からこのDMAT隊が駆けつけ治療にあたりました。

### DMATの医療活動

DMAT隊の活動は、被災地での病院支援、患者の搬送、現場での医療活動から、ヘリコプターや航空機などを使った広域搬送および後方支援までを担当します。もし日本のどこかに、例えば震度6弱以上の地震が発生した場合は、待機要請が出されます。派遣要請が出ると、各隊は医療器具や生活備



H22.3 実施、DMAT 訓練の様子①



H22.3 実施、DMAT 訓練の様子②

品を持ち寄り、車などの移動手段を使い被災地に乗り込みます。そこで指示をもらい医療活動を始めますが、重労働であるため、現場での活動時間は48時間とされています。

### DMATの情報活動

DMAT隊は医療活動以外にも重要な仕事があります。それは、被災地の病院に入って損害状況や患者情報をインターネットに流すことにあります。この情報によって「どの医療施設にどれくらい損害があるのか、どの程度医療が不足しているのか、どこに医療資源を積み込めばよいのか」など、災害現場での状況を対策本部が常に把握できるのです。今回の東日本大震災のような、大きな広域災害では特にこのような情報活動が有効に機能したのではないかと思います。

### 住民のみなさまへ

日本は地震が多い国です。この砺波地域でも今後大きな地震が起きないとは限りません。また、近辺の高速道路で多数傷病者が発生するほどの大事故が起きない保証はありません。災害は起きないにこしたことはありませんが、万一に発生したときには、当院は災害拠点病院として少しでも多くの患者を収容できるよう病院全体で取り組んでいきます。また住民のみなさまも、災害に対する日頃の訓練や備えをお忘れないうようお願いいたします。

## 産科病棟へのご面会について



産科病棟では、出産後お母さんと赤ちゃんが離れることなく、同じ部屋で過ごしていただく母子同室を行っています。抵抗力の弱い新生児をインフルエンザなどの流行性疾患からの感染を防ぎ、母親の産後の休養を十分にとっていただくために、産科の面会を次のように変更します。ご理解とご協力をお願いします。

- ▶ご主人と両方のご両親に限り、病室に直接入ることができます。
  - ▶ご親戚、ご友人の面会は、控えていただきます。
- ※面会時は手洗いとマスクの着用をお願いします。

問合せ 産婦人科外来